



# The Y's Men's Club of Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA  
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUB

Bulletin  
2010.8

SANJYO YANAGINOBANBA HIGASHI-IRU NAKAGYOKU KYOTO, JAPAN 〒604-8083 TEL(075)231-4388

2010.8.1発行 第25巻第2号通巻296号

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

国際主題	Once More We Stand	心新たに立ち上がる
アジア区主題	Once More We Stand	心新たに立ち上がる
西日本区主題	飛翔たとう	ワイズスピリットを胸に 泰然自若の精神で
京都部主題	ワイズにビジョンを、思いやりと共に	～世界のワイズが輪になって～
メネット主題	「愛の心」	～原点に立ち返って私たちに出来ること～

## 会長主題

豊かな心を求めて  
YMCAと共に

Restart!  
Aim for double

会長	森 伸二郎
副会長	三村 良行 小泉 洋
書記	岡西 博司
会計	永濱 貴章



一生の間、あなたの行く手に立ちはだかる者はないであろう。わたしはモーセと共にいたように、あなたと共にいる。あなたを見放すことも、見捨てることもない。

ヨシュア記第1章5節



## 「環境」を護り愛することはキャンプから

京都YMCA総主事 神崎清一

YMCAが大切にしていますキャンプには、グループワークの手法を用いた人間教育をはじめとした多くの目的や教育的な価値があります。その一つに「環境教育」があります。私が、30年ほど前に行ったキャンプの調査研究の結果にも、夏のキャンプに参加していない子どもたちと4泊5日の自然体験活動としてキャンプに参加した子どもたちを比較しますと、参加した子どもたちは様々な「自然」に対して、知識だけでなく親しみをもち身近なものとして感じられるようになり、その経験は長く継続することが明らかであり、顕著な差がありました。

きれいな川にこそ生物が多く存在し、その川には音や温度の差があることを実感します。写真で見る風景だけでは絶対に感じる事ができない体験をします。そして、これらの体験を通じてこそ、学校における座学を通しての知識や、テレビや新聞など文字や映像だけの情報からも、より「リアリティ」をもって学ぶことができるようになります。

また、自然豊かな環境と身近な生活と比較をすることも可能となります。だからこそ、知識や理論だけではなく、自然環境やすべての生物を「愛する」ことや「護る」べきものとして認識することができるようになります。

子どもたちは、雨はあるときは冷たく、あるときは暖かく感じることを知ります。雨天の後の川は騒がしく、生物にも変化があることも知ることができます。雨でキャンプのプログラムが変更になっても多くのことを学ぶことができます。

この夏も多くの青少年がキャンプで、新しい体験をしますが、その中で自然を「知る」「触れる」ことから「親しみ」そして「愛する」ものとして変容することを確信しています。

さて、今日の社会では「地球が危ない」「このままでは地球の温暖化が進み大変なことになる」「地球を守れ」と、いわゆる「ECO」に取り組んでいます。でも、私はいつも変だと思っています。地球は昔から何度も危機的状況になりつつも、自らの力で長い年月をかけて再生してきました。危ないのは地球ではなく「人類」です。その認識が希薄なのではないでしょうか。その原因は勿論人間が創り出しています。だからこそ、自然を護り育てる気持ちや、その自然環境に生かされているということ認識できる人を社会に輩出できればと思っています。

## 8月例会案内

1日(日)

### 納涼ファミリー例会

グリーンパーク思い出の森で、BBQと温泉、そしてグランドゴルフでこの夏の思い出を創りましょう。午前9時京都駅集合、午後5時京都駅にて解散。

18日(水)

### 第二例会・役員会

プリンス始まって以来の例会での役員会です。全員参加で気を引き締めてクラブ運営に喧々囂々と討議しましょう。

#### 例会出席

7月第1例会	8名
7月第2例会	11名
在籍者数	14名
出席率	100%
前回出席修正	

#### BFポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	0円

#### ニコニコ

7月第1例会	0円
7月第2例会	3,000円
累計	3,000円

#### ファンド

7月	0円
累計	0円

強調  
月間

## Youth Activities

ユースに語りかけよう！ 夢と希望を！

亀浦 正行 Yサ・ユース事業主任



森会長期最初の7月第1例会は、サバエキャンプ開設ワークです。朝から雨が降り大変な1日でした。

我クラブの担当は、釜戸の整備、流し台付近のサンダ掛け、防水塗料塗り、炊事場付近の草刈りでした。釜戸の整備は、永濱さん、廣井さんが中心に作業してくれました。特に、永濱さんは何時もの筆をこてに持ち替えモルタルレンガを器用に積んで作業を黙々としていました。三木さんは、高圧ホースで水の流れの悪くなったところや、すのこの汚れを楽しそうに流していました。来期からは三木さんが高圧ホースの担当になったみたいです。（良いおもちゃが見つかったようです）

作業中、雨が激しく降ったり止んだりしていたので我々は屋根が有るので助かるのですが、他クラブは大変苦労されたと思います。

昼食は、定番の野菜カレー、キーマカレー、レトルトカレー、今回はキャンプ長手作りのヨーグルトが特に美味しかったです。

昼からは、雨が激しく降りつづいたいるのでキャンプ長の方から切りが付けば終わって貰っても良いとの事でしたので切りを付け、後かたづけをして午後1時位に終了しました。今回のワークは、スムーズに作業が出来て短時間でしたが充実したワークだったと思います。雨の中怪我もなく無事ワークを終了することが出来ました。参加メンバーの皆様お疲れ様でした。今後、サバエキャンプ場を充実させて行く為色々考えて行けたらと思います。



## 第二例会 定時総会

2010年7月21日  
岡西 博司

今期初めてのホテルでの例会である。

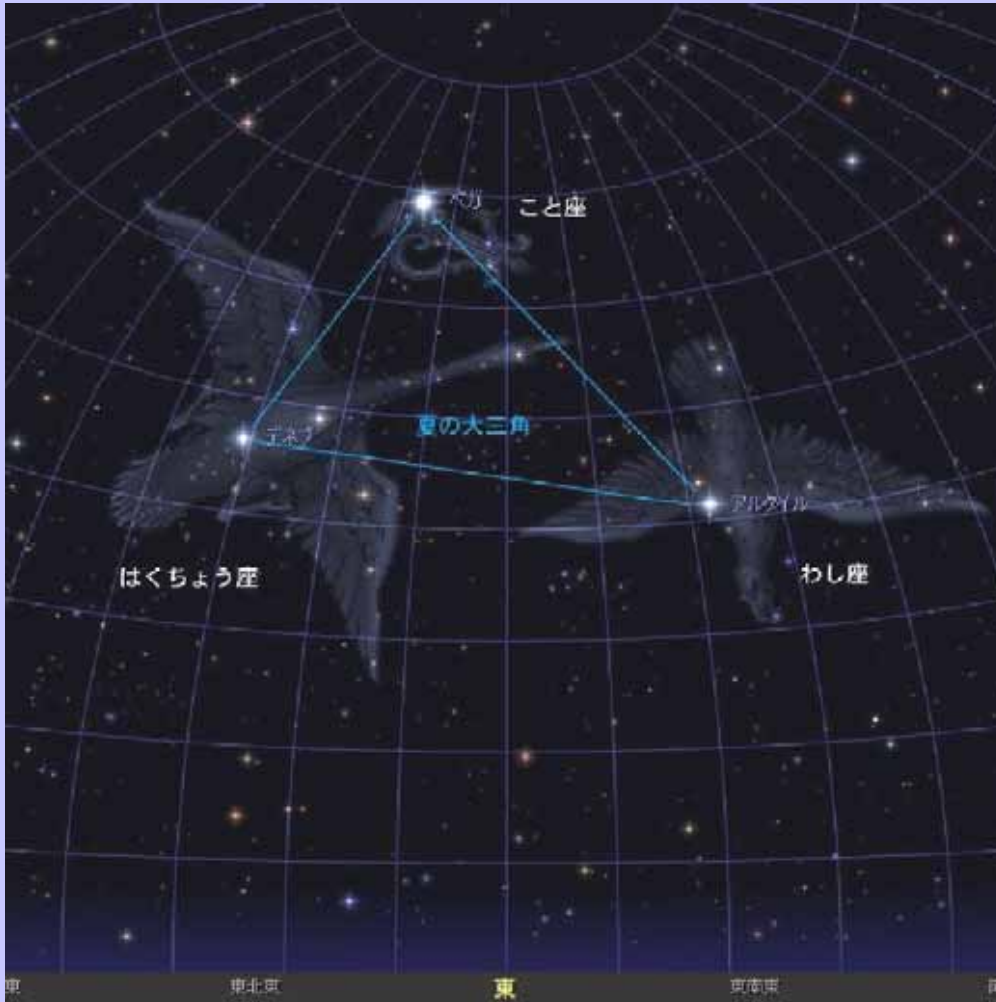
今年も、2テーブルの船出である。会員数12名のうち欠席1名。総勢11名である。この人数が、いつになったら30名近くになるのだろうか？ 森会長の挨拶でも、今年は絶対に30名まで持っていこう！と強い決意をされた。

昨年度の事業報告・会計収支報告がなされた。一年間いろんな活動を行って、最終的に約40万円の財産が減った。今年度は、もしこの人数で一年間行ったら、約100万円ほどの財産減になってしまう。クラブ自体の財産がほとんどなくなってしまう。どうするの？ 答えは一つ、早く30名にもってゆく事である。その為には、「カッコいい」例会をやりましょう！と小野ドライバー委員長。メンバーみんながかっこよければ、カッコいい奉仕も出来るし、カッコいいメンバーも入ってくるぞ！「皆さん、カッコいいですか？」この問いかけに、はっとしたのは、僕だけじゃなかったと思います。かっこよく生きてみませんか！

今期、本当に瀬戸際に立たされたプリンスクラブです。再生のキーワードは「カッコ良いですか！」再生を誓って、かっこよく一年間やってみましょう！



## 北野先生が話す「夏の星空」



夏の星空といえばなんといっても、「夏の大三角」といわれる明るい星々でしょう。3つのうち、一番明るいのが0.03等級のこと座のベガ、次に明るいのが0.77等級のわし座のアルタイル、その次が1.25等級のはくちょう座のデネブです。夏の大三角のデネブを通してベガとアルタイルの間には都会では見えない天の川が流れており、七夕で有名な織姫・彦星は、ベガとアルタイルです。8月に七夕の話は季節外れのようにですが、旧暦の7月7日は現在の8月なので元々は今の時期なのです。京都でも今年から祇園祭から大文字の送り火の間の観光行事として「京の七夕」が行われることになりました。

さて、織姫・彦星のご夫婦は1年に一度しか会えないという伝説で、私たちの常識に照らせばたいへんお気の毒ということになるのですが、これを星の寿命と照らし合わせて考えて見るとどうなるのでしょうか。太陽の寿命は100億年とされています。夜空に輝く星のほとんどは恒星と呼ばれる自分で光を出して輝いている星ですが、恒星の寿命は質量が大きい程ぐんと短くなります。織姫星の質量は太陽の2.73倍なので、3億5000万年の寿命です。3億5000万年を日本人の寿命の80年として、1年がどれくらいの時間が計算してみると7.2秒になります。1時間に500回会えるわけで、決して嘆く必要はないことがわかります。

図は「Yahoo!きっず星空」より 星のデータはウィキペディアによる

### 東京サンライズクラブからの報告

2年ぶりの評議会のホストをしました。年度末からの忙しさにかまけ、泥縄式の開催になってしまいましたが、出席者、メンバーの協力で何とか無事終わることができました。

2時間の予定だった評議会は、さしたる議案、協議事項も無く、各会長、事業主査も、各自の持ち時間を守ってくださり、余裕を持って閉会できました。

問題は昼食・懇親会で、ただお弁当を食べ、ビールと乾き物での2時間は、時間を持って余り大変でした。と言うのは、いつもの評議会とは異なり、今回はエンタテイメント・パフォーマンスの類は一切やらない代りに、二次会をセットしておいたからです。例会後に必ず使ういつもの居酒屋に無理を言って3時半から店を開けてもらった手前、大勢連れて行かなければならず、最後の30分は時間との戦いでした。巻いて早めるのは簡単ですが、飽きて帰りたい人たちを引き止めるのは至難の業。さすが司会の菰瀨君、巧みな話術で人を引き込み、なだめたりすかしたり、クラブのアピール、会長の抱負など、次々と引っ張り出し、最後は後片付けまで付き合わせて、時間どおりの閉会となりました。

二次会にも大勢参加して頂き、仲の良いあずさ部をアピールするような評議会になりました。

### 東広島クラブからの報告

うっとうしい毎日が続いています。先日の西日本区大会においてDBCトライアングルを締結することができ、本当に嬉しく思っています。東広島クラブはメンバ - 数も少なく、活動も活発ではありませんがメンバ - を増やしがんばろうと思っています。両クラブの皆様と良い関係を続けていけるよう願っています。

10月には「西条酒まつり」があります。お出でいただき交流を深めたいと思っています。

6月に東山荘で開催されたYMCAのセミナーで、あるお医者さんから「日々、オロオロしています」というお話をうかがいました。これは医療技術上のことではなく、重い病気をもつ患者さんやご家族の方々が抱える課題に直面し、その方々と同じようにその課題に向かい合うときにオロオロしてしまうというのです。それでも、無関心を装ったり素通りしてしまわず、共に悩み、ひとつでも解決策を見いだそうとオロオロすることで、チーム医療や病院全体、地域の取り組みとしての解決策が見えてくるということを示唆されていました。さて、私たちのYMCAの事業では活動体験を通して、その根幹にある「共感すること」を学びます。自分とは異なる他者の存在を知り、自分自身の課題を共に考えてくれる他者の存在、自分と同じ課題をもつ仲間がいること、他者に無関心ではいられない体験をすることを通して学びます。日常生活では大人や専門家が考える解決策へ最短経路で導こうとする傾向があるなかで、共感していっしょにオロオロしてくれる人が傍らにいるということを知るのとはすばらしい体験であり、気づきといえます。YMCAの事業を通して、子どもたちや青年一人ひとりが、自分の周りや社会で起こっていることを三人称で見るのではなく、一人称、二人称でとらえることができれば、社会は大きく変革すると確信しています。

**1. ワイズワーク感謝!**

6月27日(日)にはリトリートセンター開設ワーク、7月4・11日(日)にはサバエキャンプ場開設ワークのご奉仕、多くのワイズメンのご協力ありがとうございました。おかげさまで、夏のプログラムも順調にスタートすることができました。“多くの子供たちに素敵な夏を”とYMCAスタッフ、ボランティアリーダー一同、プログラムの工夫やトレーニングに懸命にがんばっております。また、9月5日(日)にはリトリートセンター秋期準備ワークを予定しております。よろしくお願ひ致します。

**2. グローバルアウトドアクラブ・スイミング・体育 後期募集のお知らせ**

一般の方の後期募集がはじまります。お知り合いの方でご興味のある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくは、お問い合わせ・お申し込みともに下記まで。

**グローバルアウトドアクラブ**

9月8日(水)から受付 電話(075)231-4388

**スイミング・体育**

9月8日(水)から受付 電話(075)255-4709

**3. 京都YMCAチャリティーコンサート**

**『笛と歌で綴る世界の旅』**

収益金は、インドのハンセン病患者・家族支援と京都YMCA公益活動費に使われます。

曲目 トルコ行進曲・ハンガリー舞曲・誰も寝てはならぬ・千の風になって他

出演 笛・テノール 楊雪元(ようせつげん)

中国天津市生まれ。中国長春大学特殊教育学院中国笛専攻卒業。京都市立芸術大学大学院修士課程声楽専攻修了。中国民族管弦楽学会竹笛委員会名誉理事。

ピアノ 西村彩(にしむらあや)

京都市立芸術大学音楽部卒業、同大学院修士課程修了。京都市青少年合唱団指導員。ピアノ教室「音の翼」主宰。

日時 9月11日(土)午後2時開演(午後1時30分開場)

場所 京都市北文化会館ホール(キタオオジタウン内・市営地下鉄北大路駅下車 1番出入口)

チケット前売り2,000円(当日2,500円) 三条本館にて販売しております。お問い合わせは、京都YMCA 三条本館(075-231-4388)まで

**4. ボランティアセミナーのご案内**

がん患者さんとそのご家族へ 第43回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 8月21日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人300円

お申込は京都YMCA 電話(075)231-4388または

vb@kyotoymca.or.jp

**Happy Birthday**

**August**

29日 金丸 太一郎 ワイズ

**今月のスケジュール**

**8月**

- 1日(日) 納涼ファミリー例会
- 5日(木)～ 第69回国際大会 横浜国際会議場
- 8日(日)
- 11日(水) 三役会 会長宅
- 18日(水) 第二例会 役員会
- 21日(土)～ 青い空と白い雲のキャンプ
- 22日(日) サバエキャンプ場
- 29日(日) ゼロクラブチャーターナイト 京都全日空ホテル

**役員会報告**

<承認された議案>

審議事項なし

**9月第一例会の案内**

9月第一例会は、今期初めてのゲストスピーカーをお迎えしての例会です。ご講演いただくのは、高槻ワイズメンズクラブの重鎮、森本榮三ワイズ。

演題「マザー・テレサの生き方に学ぶ」でご講演いただきます。

森本氏とマザー・テレサの出会いを、森本氏からいただいたメールの内容をもって紹介いたします。

『1981年4月「生命の尊厳を考える国際会議」(東京)で講演される事を知り、聴講させて戴いたのがマザーの偉業を知るきっかけとなり、マザーからカルカッタの「神の愛の宣教者会」を訪問する許可を戴いた。

その後、2009年12月までの8回のカルカッタ訪問で、死を待つ人の家、孤児たちの家、ハンセン病患者の家で奉仕する機会を得た。

1997年9月5日にマザーが亡くなられた後、10月18日に読売新聞大阪本社の「第405回読売宗教講座」に招かれ「偉大なる母 マザー・テレサ」の演題で講演。』

「マザー・テレサについての貴重なご講演をいただきますので、是非、一人でも多くの方をお誘いいただき、メンバー増強に繋ぎたい」とは、会長のお言葉です。